

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

December 2016
Vol. 52
毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西 2-1-8 モデラトわしみ 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467

第一志望校合格の秘訣は、 「あきらめない」気持ちを持ち続ける事



高木 秀章 (塾長)

寒さも厳しくなり、中学3年生はいよいよ受験直前になってきました。

受験においては体調管理をしっかり行い、日々の学習を積み重ねていくことはもちろん大切ですが、私は、最後まで「あきらめない」気持ちを持つことが何より大切であると考えています。

以前、指導した女の子は、私立併願校を希望のクラスで合格できず、回し合格で下のクラスでの合格になりました。内申点は高いけれども、実力が弱い。それが顕著に表れた結果でした。公立第一志望校にも偏差値が足りない。公立高校が不合格ならば、不本意ながらも私立高校の回し合格のクラスに行かなければなりません。悩みに悩んだ末、彼女が出した答えは、第一志望校への勝負でした。「せっかくここまで頑張ってきたのに、志望校を受験しないと悔いが残る。ダメなら、その時は私立で大学入試を目指して頑張る。」

そこから、約3週間、塾内のプレテストで合格点をクリアするために、過去問題演習と頻出単元の暗記の徹底、数学の関数を猛勉強し、自分よりも内申も実力も高い生徒達が不合格になった中、彼女は無事合格しました。

私立が回し合格になった彼女にとって、公立高校も不合格になり傷つくかもしれないという不安はとても大きかったに違いありません。しかし、彼女はその不安と向き合い、自分の中で整理し、残り3週間で偏差値が足りないという状況と最後まで粘り強く向き合いました。

ましてや、皆さんは私立入試までは2か月、公立入試迄は3か月あります。僅か1か月の夏期講習で皆さんは平均偏差値を3、最も伸びた生徒は偏差値を13も伸ばしています。私立高校は今回の三者懇談会で決定しますが、公立高校の決定はこれからです。最後の最後まで「第一志望に合格する」という目的意識を持ち、取り組むことで学力は伸び続けます。

また、受験は偏差値が高い人が合格するのではなく、当日のテストで得点を取った人が合格するという、当たり前のことを知っておいて欲しいと思います。

そして、そのためには、受験校の赤本5カ年分を最低4回はすることです。1度解いて丸付けをして間違い直しをする。そして、間違

えた単元を問題集で徹底的に復習し、また赤本を一から解くという学習法で2往復します。これにより、弱点単元を克服しながら、受験校の出題傾向を身につけることができます。

また、この際には、赤本の前半ページに載っている教科単元ごとの出題表を確認し頻出単元を確認しておくこと、大問ごとの時間配分を決め5分の見直し時間を確保できるように演習する癖をつけておくことで、テスト本番でも落ち着いて問題に取り組み、ケアレスミスを大幅に減らすことができます。

受験では、赤本で受験校の出題傾向と問題傾向、時間配分の対策などの準備を万全にした生徒が合格します。

大切なことは、最後まであきらめないこと。あきらめずにやり切って、もし失敗しても、残るのは後悔ではなく反省です。反省は次の努力の糧になります。

受験は自分の力で進路を選択できる人生最大のチャンスです。そして、皆さんは今、その岐路に立っています。

「あきらめずに最後までやり抜く」覚悟を持つかどうかで、皆さんの将来は大きく変わります。

今年度のGROWINGはこの号が最後となります。生徒・保護者の皆様、今年1年、本当にありがとうございました。振り返れば至らないところがたくさんあり、ご迷惑をおかけすることも多々ございました。未熟な私どもが、このように塾を営んでいられるのも皆様のおかげでございます。

日本の教育制度は今、急激な国際化、人口減少に対応するために、大きな変革の時を迎えています。子供達はその激動の中を強く生きていかなければなりません。私達はそんな子供達を、そして、子供達を支えるご家庭をしっかりサポートできる学習塾になりたいと考えております。

「皆様に期待していただけるカイチへ。そして期待に応えられるカイチへ。」

私達も覚悟を持って努力と工夫を続けたいと考えております。

新年もどうぞ宜しくお願いいたします。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート

川西 久志 (今福教室)

今福教室の受験生の様子 ～12月だからできる弱点補強の重要性



寒さがひとしお身にしみるようになってきました。こんな時私は体力の限界まで走って体の中から暖まるようにしています。

今福教室では受験生の目の色が変わってきました。今回はそんな受験生達の様子を書かせていただきます。

受験生の皆さんの中には家で勉強ができないので、塾に夕方から来て夜まで頑張っている生徒が増えていきます。私も家で勉強できるタイプではなかったのですが、塾に来ている生徒達の気持ちがよくわかります。私が様子を見に自習室に入ると必ず質問が来て、一度質問を受けだすと、我も我もと質問が周りからきて、なかなか教室から出ることができません。普

段の授業後もすぐに帰る生徒が少なくなり、質問待ちで自習をする生徒がずいぶん増えてきました。先生達は毎回その対応に追われて大忙しですが、いい傾向だと思います。一日に一間でもわからない所を克服しようという姿勢がきっと良い結果に繋がると思います。

これぞ受験生の雰囲気という感じになってきましたが、今の雰囲気になってきたのは生徒達が希望している私立高校に連絡を取り、各高校の受験基準点(例えば、五ツ木の模擬テストや学校の実力テストでこれだけの成績があれば受験は可能ですよと高校側が答えてくれる点数のことで、私立の高校合同説明会やオープンキャンパスなどでも説明されています)を各生徒に伝えたあたりからだと思います。私達が二者面談等で(特に受験校の選択で悩んでいる生徒達に)具体的な数字を地道に話したことで、モチベーションが上がっていったのだと思います。

そんな受験生の皆さんに最もお伝えしたいのは、12月の大切さです。12月は意外かもしませんが、大きなテストがなく勉強への目的意識がぼやけてしまいがちです。しかし、逆にテスト勉強に追われないこの時期には最後の弱点補強ができます。12月下旬からは冬期講習が始まり、私立受験校が決定し赤本の演習も始めなければなりませんので、期間は3週間程度ですが、この時期を逃してしまうと受験までそのような時間はありません。まず

は手元に帰ってきている模試の正当表などを確認し、間違っている単元を把握し、その単元から重点的に勉強していきましょう。教材は日頃使っているものでかまいませんので、しっかり「復習をして、わからないところを先生に聞く」ことを根気よく繰り返しましょう。

最後に受験生の皆さんには毎年お伝えしていますが、最も大事にしてほしいのは「後悔しないこと」です。私自身、受験以外にも苦しい時が何度もありましたが、最後は悔いの残らないように全力でやろうと考えてきました。昔のアメリカの小説家にマーク・トウェインという方がいますが、その方の名言で

「やったことは例え失敗しても、20年後には、笑い話にできる。しかし、やらなかったことは、20年後には、後悔するだけだ。」

という言葉が残っています。受験生の皆さんにはぴったりの言葉だと思います。残り少ない期間ではありますが、最後まで悔いが残らないようにやり切りましょう。



小田の ちょっと イイ話

TEACHER'S VOICE

小田 忠 (関目教室)

誰と出会うか。何と出会うか。何を選ぶか。

こんにちは。今回のちょっといい話は小田が書かせていただきます。

先月、博多の方に勉強会に行ってきました。生徒の皆さんが目標に向かって、勉強しているように、先生もカイチという塾をもっといい塾にするために色々、勉強しているのです。(博多は先生が行く前日に道路が陥没するという事故が起きました。実際に現場にも足を運びましたが、言葉が出ないぐらいの穴の大きさ。いつ復旧できるのかな?と聞いていたのですが、先生が大阪に帰ってきた日には穴がほぼふさがり、ライフラインも復旧の見込みが立ったとのこと。これから色々問題は出てくるのですが、日本の技術力の高さと日本人の底力を感じました。)

勉強会の3日間は「知識を吸収し、その知識を使用して思考。たまに叱咤(笑)」の繰り返し。

返し。

普段は教える立場なので、先生にとっては一年で一番、生徒の皆さんの気持ちがよくわかる3日間なのです。本当に勉強って大変。心底そう思います。しかし、帰ってくる度に「もっと勉強しよう」「今よりも仕事ができるようになりたい」と思います。

それはなぜなのでしょう。理由は2つあります。「通塾してくる皆さんの為にカイチをもっともっといい塾にしたい」ということ。そして、「出会った方々に少しでも成長した姿を見せたい」ということです。

出会った方々は先生より一回り、二回り上の方ばかり。その方々の仕事に取り組む姿勢は「仕事というのはこういうものだ」と背中教えてくれます。本当に素晴らしく、格好いい大人の見本のような方々です。

人生は「誰と出会うか。何と出会うか。何を選ぶか。」で決まるという言葉がありますが、先生はの中で一番大事なのは「誰と出会うか。」だと思います。先生は自分のターニングポイントで必ず「格好いい大人」「こうなりたいという人」に出会います。こういう人達と出会えた先生は本当に幸せだと思います。だから、もっと頑張ろうと思えるのです。

生徒の皆さんはどうでしょうか?カイチに入って、何か変わったでしょうか。先生を含め、カイチの先生達は格好いい大人でしょうか?先生はまだまだだなどいつも思います。

「カイチの先生達と出会って、人生が変わった」なんておこがましいですが、少しでも生徒の皆さんの人生の役に立てることができれば、これほどうれしいことはありません。生徒の皆さんが頑張ることができるように、いや、頑張ろうと思えるように先生は率先して頑張っていきたいと思えます。

寒い日も多くなり、体調管理が難しい日が続きますが、一緒に頑張っていきたいと思います。



博多の道路陥没の現場

カイチからの お知らせ

- 12月17日(土) はクリスマス会です。時間については後日お知らせを配布します。当日、得点券をお持ちください。
- 12月21日(水)は小学診断テストを実施します。 ■12月20日(火)・21日(水)は中学診断テストを実施します。
- 珠算・パスカルキッズは年内の授業は12月21日(水)で終了となります。
- 小学部の冬期講習を12月26日(月)～28日(水)、1月5日(木)～7日(土)で実施いたします。
- 中1・2の冬期講習を12月22日(木)～29日(木)、1月5日(木)～7日(土)で実施いたします。
- 中3の冬期講習を12月22日(木)～29日(木)、1月5日(木)～7日(土)で実施いたします。
- 進研模試を小4生 1月7日(土) 9時～10時45分、小5・6生 1月7日(土) 9時～11時45分、中3生 12時30分～16時45分、中1・2生 18時～22時15分で実施いたします。
- 1月10日(火)より通常授業がスタートです。珠算・パスカルキッズはこの日が新年度の授業始めとなります。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

ハロウィンパーティー 大盛況でした。

熊谷 真宏 (今福教室)



10月末から11月初旬にかけて、英会話クラスのトーキングキッズにおいてハロウィンパーティーレッスンが行われました。トーキングキッズに通っている子供達だけでなく、珠算生やパスカルキッズ生、そしてカイチに通っていないご兄弟やお友達も合わせて、総勢240名の子供達が参加してくれました。先生達の間でもこれほどの人数が集まるとは当初は予想しておらず、大変驚いたのと同時に、英語に対する関心が高まっていることを改めて認識させられました。

レッスンは外国人講師のMs.カトリーナによって、全て英語で行われました。大半の子供達にとって、おそらくこれは初めての経験だったかと思います。日本人の先生達も周りでサポートしていましたが、なるべく日本語は使わずに、Ms.カトリーナの英語をよく聴いて、自分なりにどういう意味なのかを子供達に考えさせるようにしていました。

今回のレッスンを通して子供達に学んで欲しかったことは、大きく分けて2つです。1つは、「ハロウィン」という日本には元々ない外国の文化を、「自分の目で見て、感じ、体験する」ということ。そしてもう1つは、「外国語」である英語を自分の耳で聴いて、自分でその意味を考えながらコミュニケーションを取るということです。

日本では今ものすごい速さで国際化が進んでいます。しかし、日常生活の中でそれを実感することが出来る機会というのは、まだまだ少ないのではないのでしょうか。それでも、見えないところで国際化の波は確実に押し寄せてきています。英語が必須になる時代はもう目の前に来ているのです。これは、教育制度が大きく変わろうとしていることから明らかです。これから子供達は、もう既にやって来ている国際化の時代を生き抜いていかなければなりません。そのためにも、国際感覚というものをいち早く身につける必要があります。

今回のハロウィンレッスンでは、実際に外を歩いてお菓子をもらいに行くTrick or Treatや、日本ではなかなか体験できない欧米のポピュラーなゲームを通して、世間で盛り上がりを見せている「ただの仮装イベント」というものではなく、「本物の外国の文化」として子供達に体験してもらい、この国際感覚を子供達に肌で感じてもらうことができたと思います。

そしてもう1つ身につけなければならないのは、様々な文化や価値観を持った人々の中で、自分の意見を「論理的に相手に主張する力」です。外国人と比べて、日本人は圧倒的に自己主張が弱いです。「日本人はシャイな国民だ」とよく言われ、それが国民性として受け入れられていた時代はもう終わりました。これからもっと国際化が進むと、ありとあらゆる国の人々と接しなければなりません。その時に自分の意見を相手に伝えることが出来なければ、ただ取り残されてしまうだけです。ハロウィンレッスンの中でも、積極的

に前に出てコミュニケーションを取ろうとする子もいれば、恥ずかしくてなかなか言葉に出せない子もいました。これからの時代を生き抜いていけるのは、もちろん前者の子供達です。

このように、英語を使って国際化の時代をたくましく生き抜いていける人材を育てるという強い使命感を持って今年開講したのが、トーキングキッズクラスです。カランメソッドというヨーロッパ圏で使われている指導法を用いたレッスンは、子供達に次々と英語の質問を投げかけ、日本語で考える余裕を与えないことで反射的に英語で答える力を身につかせます。3月から通っている子供達を見ていても、この力が身につけているのが明らかに分かります。体験や見学も随時行っておりますので、ぜひ一度様子をご覧ください。



Topic



COLUMN: 先生紹介

I'm here to help you to communicate in English comfortably.

マリア・カトリーナ (トーキングキッズ)

This column was written by Ms. Katrina. She made a promise to speak only English in our school. So we must talk to her in English. She is a very positive woman and she creates graceful air wherever she is in Kaichi. (Principal Takagi)

Good day everyone. My name is Maria Katrina Zenaida Ibanez Fujikawa, born in Manila, Philippines. My father is half Spanish and my mother is a pure Filipino. I have 3 brothers and I'm the eldest. My family is very religious especially my mother. We go to church every Sunday, especially on Christmas, New Year and Easter. I studied in a catholic private school for girls from kindergarten to junior high school. My father is a textile Chemist and my mother is an elementary teacher in the same school where I finished my primary and secondary level. My father died when I was 15 years old. I need to be strong to help my mother earn a living. I work in the morn-

ing and study college in the evening. I thank God I finished school. I graduated with the degree of Bachelor of Science in Education. After graduation, I worked as Sales Representative of one of the Mitsubishi Company in Philippines selling cars.

Teaching is my passion. God is good all the time I met a very good couple who runs an English school in Chiba. That's how I started to teach English in Japan. I've worked in different public schools as an Assistant Language Teacher and later became a head teacher at an international school in Higashi Osaka. I have taught variety of students including toddlers. I teach Eng-

lish grammar, vocabulary, pronunciation, arts and craft. I want to impart the knowledge that I have to you. I know that learning a Language is not an easy task. There are many ways to make it fun, easier and exciting. I'm friendly and supportive to my students. I enjoy life to the fullest. I enjoy doing fun activities with my students. I'm here to help you. I will mold you, teach you and motivate you to be a good English speaker. If you want to learn how to communicate in English comfortably then you have to join my class. I believe that English is very important. Let's explore the English Language. We will have a lot of fun.

今月のコラムはMs.カトリーナに書いてもらいました。彼女は私との約束でカイチの中では英語しか話してはいけないことになっていて、先生達も彼女とは英語で話さなければなりません。彼女はとてもポジティブな女性で、彼女が来てからカイチの雰囲気が明るくなった気がします。(塾長高木)

みなさんこんにちは。私の名前はマリア・カトリーナ・ゼナイダ・イヴァニェス・藤川です。フィリピンのマニラで生まれました。父はスペイン人のハーフで、母は純粋なフィリピン人です。私には3人の兄弟がいて、私が一番年上です。私の家族、中でも母はとても信仰心が深い人でした。私達は、クリスマスや新年・イースターなどの特別な日や、毎週日曜日には教会へ行きます。私は幼稚園から中学生まで、私立のカトリックスクールに通っていました。父は繊維の科学者で、母は私が小学1・2年生を過ごした学校の教師でした。父は、私が15歳の時に亡くなりました。そのため私は、母が生計を立てるのを助けるために、強くなる必要があったのです。朝は働き、そして夜には大学へ行き、学びま

した。大学から帰ると、神に感謝しました。そして私は科学教育の学士課程を修了し、卒業することができました。その後、フィリピンの三菱自動車販売の代表の一人として働きました。

教えることは私の情熱そのものです。神はいつも良い働きかけをくださり、千葉のイングリッシュスクールで素晴らしい夫婦と出会えました。この出会いが日本で英語を教えるきっかけとなりました。私はE.L.Tとしていろんな公立学校で働き、のちに東大阪のインターナショナルスクールのヘッドティーチャーにもなりました。小さな子供も含め、多様な生徒達を指導してきました。英語の文法、語彙、発音や図工に至るまで、様々なことを教えています。私は、私の知識

をあなた達に授けたいのです。言語を学ぶことは決して簡単なものではないと知っています。しかし、楽しく簡単に、そして面白く学ぶ方法はたくさんあるのです。私は生徒に対して、優しくフレンドリーに接します。私は全力で人生を楽しんでいます。生徒と一緒に、活発に楽しみます。あなた達を助けるためにここにいます。私はあなたにぴったりついて教え、興味を呼び起こし、あなたをよいイングリッシュスピーカーに導きます。もしあなたが、快適に英語でコミュニケーションをする方法を学びたいのであれば私の授業に参加してください。私は、英語はとても大切だと信じています。

さあ、一緒に英語を探求しましょう! 私達にはたくさんの楽しみが待っています。